

浦安市 2020 東京オリンピック・

パラリンピック基本方針

第 1.2 版

2019 年 4 月

浦安市

2020 東京オリンピック・パラリンピック推進本部

## 目 次

1	基本方針策定にあたり . . . . .	2
2	市の特性 . . . . .	3
3	基本的な考え方・方向性 . . . . .	4
4	基本方針における3つの柱とその取り組み . . . . .	6
5	事前キャンプ地誘致活動について . . . . .	11
6	推進体制 . . . . .	13

# 1 基本方針策定にあたり

スポーツと文化の祭典であるオリンピック・パラリンピック競技大会が2020年、東京都を中心として開催され、千葉県においても一部が会場となっています。

東京都に隣接する浦安市は、大会会場からのアクセスの良さや豊富な宿泊施設を有していることから、選手、マスメディア関係者、観客といった多くの方々が国内外から来訪されることが想定され、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「大会」といいます。）への積極的な関与が期待されています。

また、2018年から2020年にかけて日本各地で女子バレーボール世界選手権やラグビーワールドカップといった大規模な国際大会が相次いで開催され、そのピークとなる大会への期待感も日々膨らんでいくこととなります。市民にとっても、56年ぶりに日本で開催される大会への関心が今後、より高まっていくものと考えられます。

本市としては、大会の成功に寄与するとともに、大会を契機として更なる市民スポーツの振興や市民の健康増進のみならず、これからのひとづくり・まちづくりに活かし更なる発展に結びつけていくために、基本方針を定め、2020年が市民共通の思い出となるよう取り組みを推進することとします。

## 2 市の特性

基本方針策定にあたり、本市が大会に対し寄与できること、必要とされていること、推進すべきことを明らかにする必要があります。

そこで、大会における本市の資源や強みといった特性を把握し、これらの特性を活かした基本方針を定め、効果的に各種事業を推進していくものとします。

### 浦安市の特性

<b>立地</b>	大会会場の集積している東京臨海部から10km程度の距離に位置 成田、羽田のそれぞれの国際空港から高速道路で直結 JR東京駅から京葉線で新浦安駅まで20分
<b>交通利便性</b>	4km四方のコンパクトな市域 鉄道3駅及びバス網の公共交通機関が充実 埋め立てにより市内に高低差がなく、道路が平坦なため移動が容易
<b>宿泊・コンベンション施設</b>	宿泊施設の合計部屋数が11,000室以上（大会時） 多様なニーズに合わせた様々なスタイルのホテルが立地している 国際会議観光都市として、各種会議や学会などを多数誘致
<b>スポーツ・文化施設</b>	総合体育館や陸上競技場の他、アーチェリー場やスケートボードパーク、車いすテニス対応のハードコートなど様々な施設が充実 文化・芸術活動の拠点として文化会館や市民プラザ、音楽ホールを整備 浦安の歴史・文化を伝え郷土を愛する心を育む郷土博物館
<b>リゾート施設</b>	年間入場者数3,000万人超（2016年）を誇る東京ディズニーリゾート® ※1
<b>市民力</b>	国際交流などの様々な分野で市民や団体が多数活躍 地域で大切に守り伝えられてきたお洒落踊りやお囃子などの伝統芸能 生活に根差して市民自ら発展させてきた祭り、年中行事、食文化など
<b>多様性</b>	自治体ではあまり例を見ない「障がい者を理由とする差別の解消の推進に関する条例」を策定 80か国・3,800人（2017年）を超える外国人が在住し、様々な文化交流を育む

※1 OLC GROUPホームページ参照（<http://www.olc.co.jp/ja/tdr/guest.html>）

### **3 基本的な考え方・方向性**

本市の特性から、大会に係る事業全ての基本となる3つのテーマを設定しました。そして、これらのテーマを基本的な考え方・方向性として大会への取り組みを実施していきます。

#### **① 浦安ならではのおもてなし**

大会会場から近くに位置し、東京ディズニーリゾートや国際級ホテル、また遊漁船などの観光資源を有する本市は、国際会議観光都市として選手や観客をはじめ大会関係者、マスメディア関係者などの多くの来訪者を迎え入れることのできる魅力と環境が整っています。

これらの来訪者を本市では、市域のコンパクトさを活かし、行政だけでなく、市民、市内企業、大学などとの地域連携のもと、浦安ならではのおもてなしでお迎えします。

また、その際には本市の持つスポーツ・文化芸術・観光、それぞれの資源を最大限に発揮しながら、来訪者のみならず市民も参加し楽しめる体験を創出していきます。

## ② 相互理解による共生社会の実現

市域の大部分が埋立により造成され、坂道がほとんどなく施設のバリアフリー化も進む本市は、障がいのあるなしに関わらず誰もが暮らしやすいまちとなるよう、人にやさしいまちづくりを推進してきました。

また、在住外国人の増加に伴い、「多様な文化を持つ人がともに支え、創造するまち」を目指し、市民の国際理解・交流を促進してきました。

本市はオリンピック競技だけではなく、パラリンピック競技へと積極的な支援を行い、障がい、国籍、文化などの多様性を尊重するとともに、共に助け合い、支え合い誰もが安心して健康に過ごせる、相互理解による共生社会を目指していきます。

## ③ 未来へと継承していく市民力

国際交流など、様々な分野において市民活動が活発な本市では、大会において団体・個人を問わず、ボランティア活動の気運が醸成していくものと考えています。

このボランティア活動の隆盛を大会期間中の一過性のものとはせず、10年後、20年後、さらにはその先にも継承していけるよう、活動を支援していきます。そして、この活動をきっかけとした地域コミュニティの更なる活性化を図っていきます。

## 4 基本方針における3つの柱とその取り組み

具体的な取り組みについて、様々な事業を体系的に3本の柱としてまとめました。これらの取り組みを国や千葉県、その他関係団体などと連携・情報共有を行いつつ、全庁的に推進していきます。

### I. スポーツの普及と健康づくりの推進

### II. 多様性を尊重したひとづくり・まちづくり

### III. 文化芸術活動の活性化と魅力の発信

#### **I. スポーツの普及と健康づくりの推進**

本市では、スポーツを通して市民一人ひとりが生涯にわたって心身ともに明るく健康であることを願い、2010年に「生涯スポーツ健康都市」を宣言しています。

この大会を契機に、様々なスポーツの振興に努め、多くの市民にスポーツに触れる機会をさらに提供します。また、誰もが取り組める日常的なスポーツを促進し、健康づくりへの意識の向上を図ります。

《取り組みの方向性》

- スポーツ関係者の育成、競技力の向上
- 大会を契機としたスポーツ認知の向上
- スポーツに親しむ機会の創出
- スポーツを日常に取り入れた健康づくりの増進

《取り組みに向けた課題》

- ・スポーツへの関心を高める機会の設定
- ・オリンピック・パラリンピック種目の紹介・体験の場創出

《期待する効果》

- ✓ 大会を通して市民が今以上にスポーツに親しみ、スポーツの普及が促進される
- ✓ 健康づくりへの意識向上により、日常的に運動を行う人が増加する



## Ⅱ. 多様性を尊重したひとづくり・まちづくり

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下、「大会組織委員会」といいます。）では大会の基本コンセプトの一つとして「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」を掲げており、本市においても、国籍・文化の違いや障がいの有無など多様な人びとが互いに理解し合い、尊重できるようソフト・ハード両面のバリアフリー化を推進していきます。

学校教育においては、既に大会公式マスコットの選定投票に全小学校が参加し、大会への機運を高める活動に取り組み、また、2018 年度には見明川小学校が千葉県からオリンピック・パラリンピック教育推進校に指定され、オリンピック・パラリンピック教育を推進しています。今後も、オリンピック・パラリンピック教育を推進することにより、共生社会の形成者として未来の浦安を担っていく人材の育成に努めていきます。

また、学校教育だけでなく、市民にオリンピック・パラリンピックに関する学びの場を提供し、大会への興味関心の醸成を図ります。

その他にも事前キャンプ受入などによる異文化交流を通してグローバルな人材の育成にも注力していきます。これらの交流をはじめ、様々な取り組みを市民ボランティアの活躍の場とし、活動の活性化へと繋げていきます。

《取り組みの方向性》

- 多様性を尊重したおもてなしのまち浦安を実現
- 誰もが利用しやすい公共施設や移動環境の整備
- オリンピック・パラリンピック理念の理解促進
- 国際理解・交流の促進
- ボランティアの育成及び機会の提供

《取り組みに向けた課題》

- ・民間企業などと連携したおもてなしの構築
- ・ボランティア運営方法

《期待する効果》

- ✓ 多様性の理解による誰もが住みやすいまちの推進
- ✓ 積極的なボランティア活動による更なる市民活動の活性化
- ✓ 国際理解・交流によるグローバルな人材の育成・増加

### Ⅲ. 文化芸術活動の活性化と魅力の発信

大会は、スポーツだけではなく、文化の祭典でもあります。

本市では、文化の振興及び文化の他分野における活用を図るため、本年3月に「浦安市文化政策基本方針」を策定しました。

この方針を基に、大会を一つの契機として、市民の文化芸術活動を支援するとともに、より多くの市民へ体験の機会を創出します。これらの活動は、大会組織委員会や内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局の推進する文化プログラムに参画し、大会に向けた機運醸成にも寄与します。

また、それらを魅力として市内外、国内外へと広くPRし、更なる郷土愛の醸成や来訪者増加につながる都市イメージの向上を図ります。

#### 《取り組みの方向性》

- 文化芸術活動の支援の充実、機会の提供
- 官民一体となった機運の醸成
- 都市イメージの向上による来訪者の増加
- 地域の魅力の再発見による郷土愛の醸成

#### 《取り組みに向けた課題》

- ・文化芸術活動の活躍の場の提供
- ・文化プログラムの認知度向上

《期待する効果》

- ✓ 市民の文化芸術活動の活性化
- ✓ 浦安市の認知度、イメージの向上による来訪者の増加

## **5 事前キャンプ受入対応について**

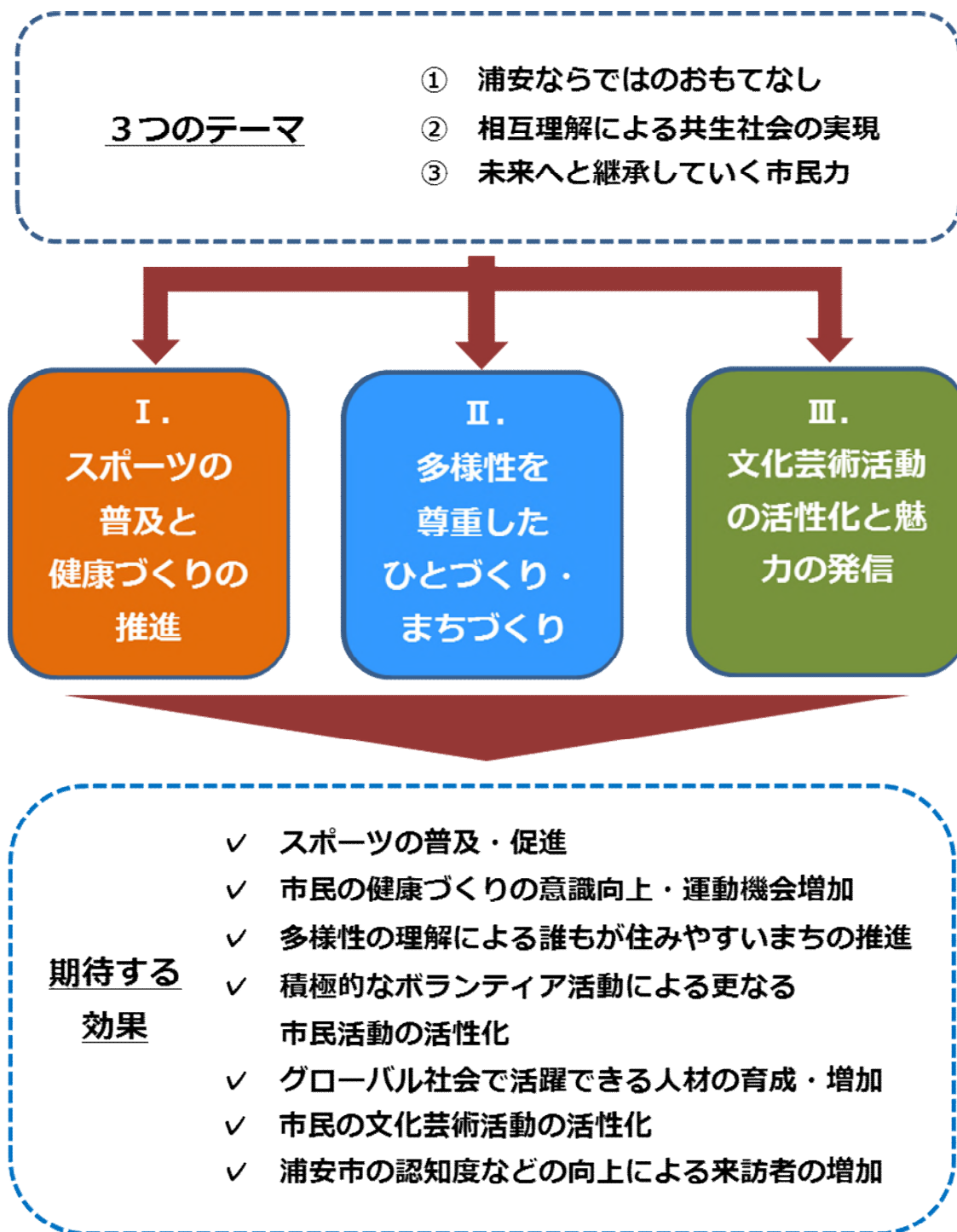
各国・競技の事前キャンプの受入を行い、全ての柱を効果的に推進していきます。

事前キャンプを受入れることにより、市民がトップアスリーの練習風景や公開試合を間近に見ることができます。また、オリンピック及びパラリンピアンなどと市民との交流の場を設けることで、文化芸術活動の発表の機会も提供できます。更に、これらに伴うサポートとして、ボランティアに活躍してもらうことにより、柱全てに関連する取り組みを行うことができ、それぞれの活動の活性化を推進することができます。

### 《取り組みに向けた課題》

- ・事前キャンプ地利用による期間中の施設利用制限
- ・宿泊施設との調整
- ・費用負担などの受け入れ条件の設定
- ・民間企業などとの連携

図解：本方針のテーマを土台に、各事業の柱を通して期待する効果の取得を目指していきます。



## 6 推進体制

大会に関連する各種の取り組みを組織的に推進するため、「2020 東京オリンピック・パラリンピック推進本部」を組織しました。

### 2020東京オリンピック・パラリンピック推進本部

役割：大会に向けた基本方針の策定、重点事項の調整・協議

本部長：市長

副本部長：副市長、教育長

本部長：総務部長、企画部長、財務部長、市民経済部長、福祉部長、健康こども部長、環境部長、都市政策部長、都市整備部長、教育総務部長、生涯学習部長

事務局：企画部 2020東京オリンピック・パラリンピック推進課

### 2020東京オリンピック・パラリンピック推進本部幹事会

役割：大会に向けた方針・重点事業の検討・調整、各推進事業ワーキンググループの設置

幹事長：企画部次長

副幹事長：生涯学習部次長

会員：2020東京オリンピック・パラリンピック推進課長、広聴広報課長、地域振興課長、協働推進課長、商工観光課長、障がい福祉課長、都市計画課長、保健体育安全課長、生涯学習課長、市民スポーツ課長

事務局：企画部 2020東京オリンピック・パラリンピック推進課

### 各推進事業ワーキンググループ

役割：横断的的事业に関する連携、調整、検討、情報共有

構成：関係各課

事務局：幹事会にて決定

各担当課